



# 2ハンドル混合栓(シャワーつき)

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、2ハンドル混合栓(シャワーつき)をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**必ず実行** 「強制」を示します。

**禁止** 「禁止」を示します。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

**接触禁止** 「接触禁止」を示します。

### 施工上のご注意

**必ず実行**

- 配管内のゴミや砂等は、完全に洗い流してください。
- 給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。
- 各部の接続を行う際は、パッキンがついていることやそれらに破損・変形がないことを必ずご確認ください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
- 給水・給湯配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁内)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**禁止**

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損のおそれがあります。
- 給湯温度は85℃まででご使用ください。85℃以上の高温でご使用されると、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水・給湯圧力に圧力差があると、温度調整がしづらくなります。やけど防止のため、給水圧力を給湯圧力より必ず高くするか、同圧にするようにしてください。
- \*電気温水器と組合わせる場合は、特にご注意ください。
- 他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどのおそれがあるため、やけどのおそれがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

### 使用上のご注意

**必ず実行**

- 使用する前に、必ず適温であることをご確認ください。高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
- 使用する前に吐水口(スパウト)側かシャワー側かを切替ハンドルでご確認ください。高温の湯を使用する際に誤ると、やけどをする恐れがあります。
- 湯をご使用時は、水側ハンドルから開いてください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開き、お好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開くと高温の湯が出てやけどをする恐れがあります。
- 湯をご使用後は、必ず水側ハンドルを開き、しばらく水を流してから止水してください。次回使用時に水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- 可動部が固く動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因となるため修理をご依頼ください。

**禁止**

- 給湯温度は85℃まででご使用ください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度を推奨いたします。
- シャワーヘッドには60℃以上の湯を通さないでください。シャワーヘッドの変形や破損により、やけどやケガをする恐れがあります。45℃程度以下を推奨いたします。
- シャワーを使用して浴槽に湯をはらないでください。シャワーヘッドの破損や逆流の恐れがあります。
- 製品にもたれる等無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**注意**

- 湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分ご注意ください。
- 小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけどやケガをする恐れがあります。
- 他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。

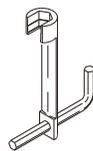
**接触禁止**

高温の湯をご使用の際は、吐水口(スパウト)に直接触れないでください。吐水口(スパウト)が高温になっているため、やけどをする恐れがあります。

## 施工に必要な工具

●立カラン締め

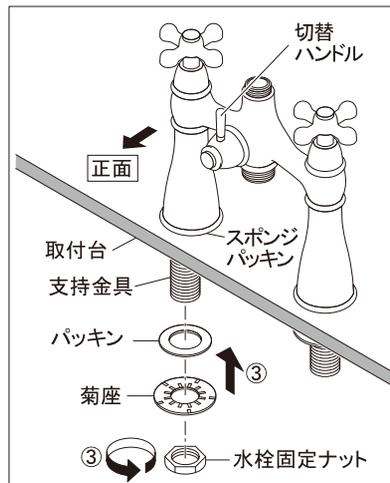
●モンキーレンチ



## 取付方法

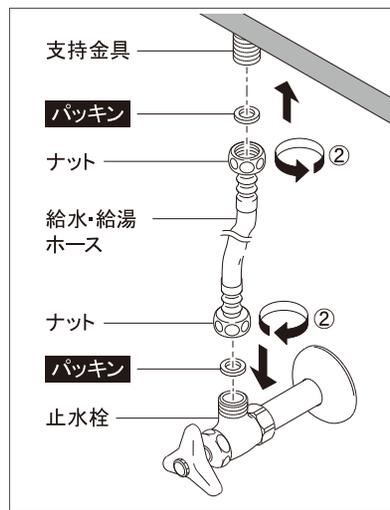
\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

### 1. 混合栓本体を取付けます。



- ①支持金具から水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
- ②混合栓の底面にスポンジパッキンがついていることをご確認のうえ、混合栓本体を取付台に差込みます。  
\*切替ハンドルが正面にくるように取付けてください。
- ③パッキン・菊座の順で支持金具に差込み、水栓固定ナットを「立カラン締め」などで締付け、しっかりと固定します。

### 2. 止水栓と接続します。



給水・給湯ホースのナットにパッキンが入っていることをご確認のうえ、支持金具・止水栓にしっかりと締付けて固定します。  
\*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

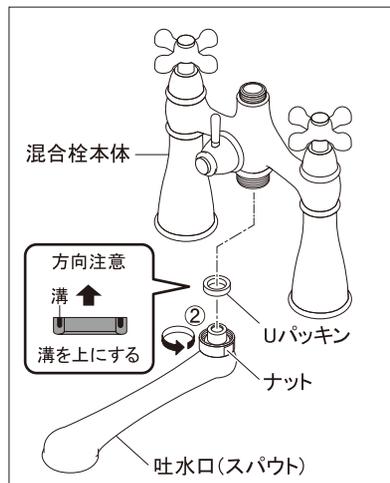
**必ず実行**

フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマー等の振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

**注意**

湯側・水側を確認して、逆配管にならないようご注意ください。

### 3. 吐水口(スパウト)を取付けます。

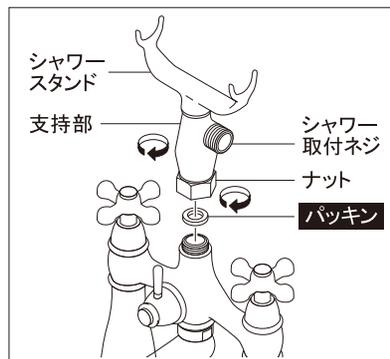


- ①混合栓本体にUパッキンを溝を上向きにして本体側に挿入します。
- ②吐水口(スパウト)を混合栓本体に差込み、ナットをしっかりと締付けます。

**注意**

Uパッキンの挿入方向を誤ったり、傷をつけたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。ご注意ください。

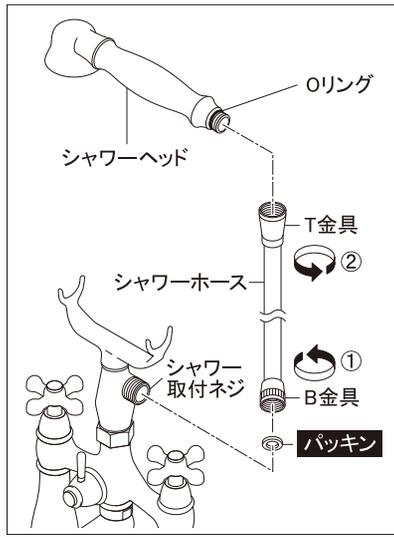
### 4. シャワースタンドを取付けます。



- ①シャワースタンドのナットから保護キャップを外し、ナットにパッキンが入っていることをご確認のうえ混合栓本体に取付け、ナットを軽く締めて仮固定します。
- ②シャワー取付ネジ(シャワースタンドの支持部)・シャワースタンドをお好みの方向に向くように調整し、ナットをしっかりと締付けて固定します。  
\*シャワー取付ネジには、後ほどシャワーホースを取付けます。

# 取付方法(つづき)

## 5. シャワーホース・ヘッドを取付けます。



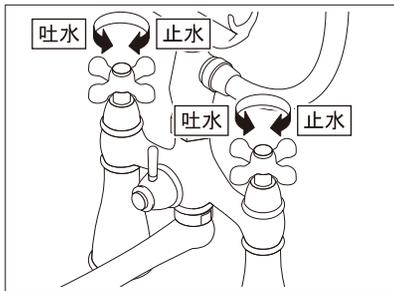
- ①シャワーホースのB金具から保護キャップを外し、B金具にパッキンが入っていることをご確認のうえ、混合栓本体のシャワー取付ネジに取付けます。
- ②シャワーヘッドの根元にOリングが付いていることをご確認のうえ、シャワーホースのT金具に取付けます。

## 施工後の確認

- ①止水栓または元栓を開き、各部に水もれがないかを確認します。  
水もれが発見された場合は、止水栓または元栓を閉じ、水もれする箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。  
適量・適温で吐水するために、止水栓で水量・湯量を調整してください。

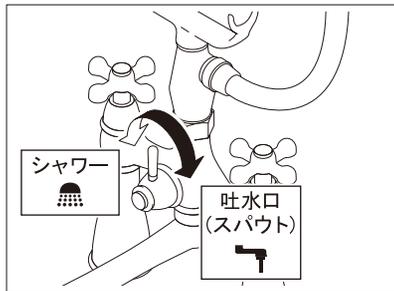
## 使用方法

### ハンドルの操作方法



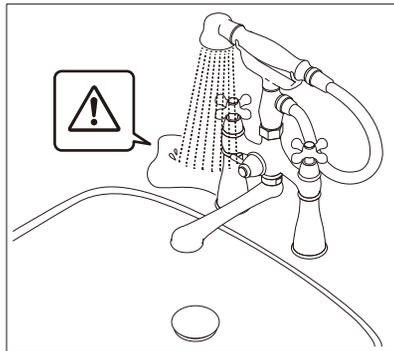
ハンドルを反時計回りにまわすと「吐水」、時計回りにまわすと「止水」します。

### 切替レバーの操作方法



切替レバーを左にたおすと「シャワーから吐水」、右にたおすと「吐水口(スパウト)から吐水」します。  
\*シャワーを使用する際は、シャワーホースを無理に曲げないでください。破損する恐れがあります。

### シャワー使用時のご注意



シャワーをご使用の際は、シャワーヘッドを手に取ってから吐水してください。シャワーヘッドをシャワースタンドに置いたまま吐水すると、器外に吐水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## お手入れのしかた

### 泡沫内芯のお掃除

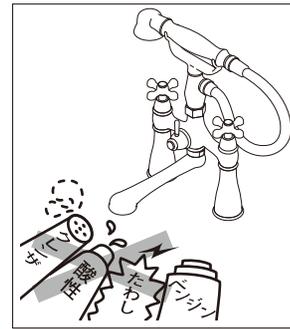


最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

# お手入れのしかた(つづき)

## 器具のお手入れ

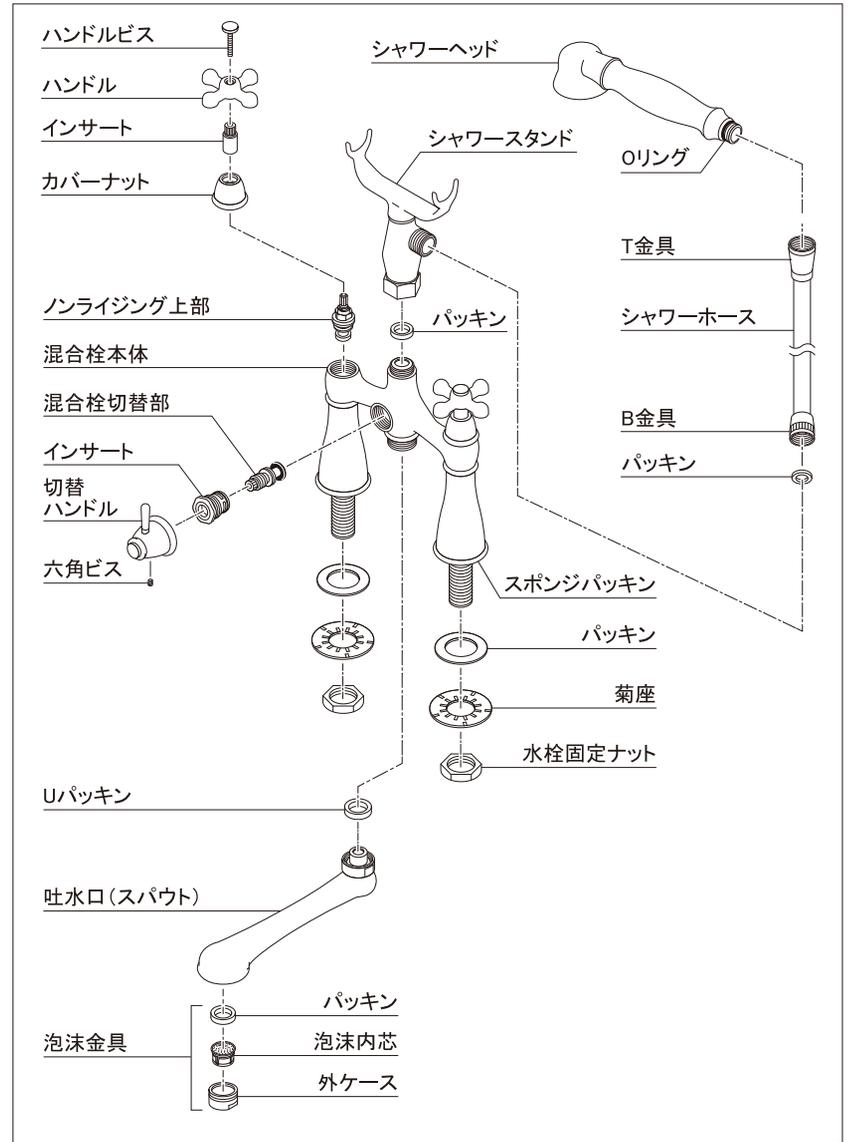
いつまでも美しくご使用いただくために。



- 水栓器具の金属部  
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面  
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

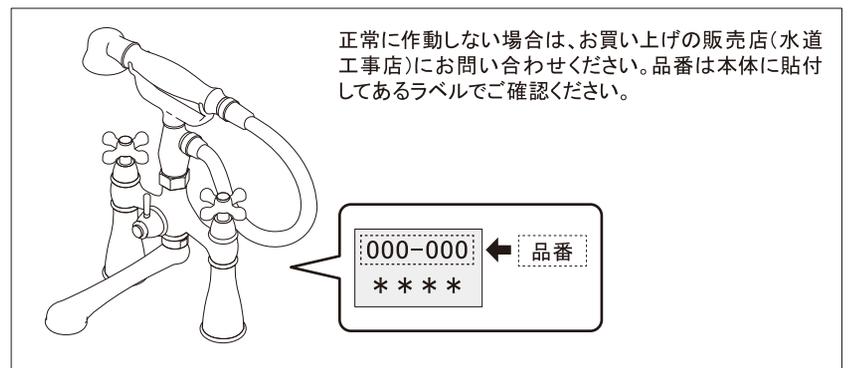
**注意** メラミンスポンジ、金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。

## 分解図



\*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 修理を依頼されるときは



正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は本体に貼付してあるラベルでご確認ください。

## 株式会社 カワダイ

水と住まいの接点  
株式会社 カワダイ  
本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124  
東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611  
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371  
0721GF M-A9858

無断転載・複写を禁ず